

「吹田市市民公益活動審議会」第80回会議 議事要録

開催日 令和4年(2022年)11月18日(金)午後2時~午後3時30分

場 所 千里市民センター 大ホール

出席者

(1) 委員(敬称略。50音順)

梅村 賢作、草郷 孝好、澤田 佳奈映、太刀掛 俊之、橋本 徹也、茂上 さつき、
山下 節代、渡辺 裕美子

(2) 事務局

高田市民部長、市民自治推進室 高島室長、田家参事、加樂主幹、鶴岡主査
市民公益活動センター(ラコルタ) 春貴センター長

傍聴者 なし

議題

- 1 会長・副会長の選任
- 2 市民公益活動について
- 3 今後のスケジュール
- 4 市民公益活動促進補助金について
- 5 市民公益活動センター ラコルタについて
- 6 その他

配付資料

吹田市市民公益活動審議会委員名簿

資料1「市民自治推進室事業概要」

資料2「今後のスケジュール」

資料3「市民公益活動促進補助金~申請から補助金交付までの流れ」

資料4「吹田市立市民公益活動センターの事業について」

参考資料1「吹田市市民公益活動の促進に関する条例」

参考資料2「吹田市市民公益活動の促進に関する条例施行規則」

参考資料3「吹田市市民公益活動の促進に関する基本方針」

参考資料4「吹田市市民公益活動促進補助金交付要領」

参考資料5「令和4年度吹田市市民公益活動促進補助金募集要項」

1 会長・副会長の選任について

会長に太刀掛委員、副会長に草郷委員を選任

太刀掛会長：それでは議事を進行します。本日の傍聴希望者はおられますか。

事務局：ございません。

2 市民公益活動について

事務局：資料1を使って説明

太刀掛会長：この件について御質問はございますか。

草郷副会長：補助金の申請数が減っている理由や、それに対する取組みを教えてください。

事務局：理由は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、活動がしにくくなったことと、この補助金の交付は5年が限度という中で卒業される団体がおられたことなどと考えています。

申請数の減少についてラコルタと連携してアンケート調査を行い分析しました。アンケート結果を受けて、より書きやすい申請書について検討しており、また、新たな申請を検討されている団体に参考にしていただけるように例年4月に補助金交付事業の報告会を実施しておりますが、報告会から申請期限までの期間が短かったので、報告会の前倒しの実施を考えています。また、みんなで支えるまちづくり基金という市民公益活動に活用する基金の寄附啓発活動を兼ねて活動紹介に取り組んでおり、コロナ禍以前の水準に戻したいと考えております。

草郷副会長：広報活動についてはどのようにお考えですか。

事務局：公益活動の促進に関する条例の中に市民公益活動団体の届出制度があり、約240団体の届出がありますが、その団体には補助金制度の御案内を毎年させていただいています。また、従来のホームページに加えて、SNS等新たな啓発の仕方、広報の仕方を考えていきたいと考えております。

草郷副会長：活動を知ってもらったり、お互いに相談・提案したり等、団体間で交流できるような機会が大事だと思うので、報告会等でそういう場をつくってはいかがでしょうか。

事務局：その予定をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できておりません。

3 今後のスケジュール

事務局：資料2を使って説明

太刀掛会長：この件について御質問はございますか。

太刀掛会長：今年度の市民公益活動促進補助金交付団体の現場訪問は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施しないのですか。

事務局：おっしゃるとおりです。また、事業自体が既に完了している事業もあります。

4 市民公益活動促進補助金について

事務局：資料3を使って説明

太刀掛会長：この件について御質問はございますか。

草郷副会長：募集要項で応募できる団体資格が3つありますが、条件を満たすのはハードルが高い場合があり、条件を満たさない人でも申請できる余地を広げられませんか。

茂上委員：私も吹田市の他の補助金を受けるために事業を立ち上げたことがあります。事業計画や予算書を作ったことがなかったのですが、ただただやりたいという想いで、1からやりましたが、その時も同様な条件があり、事務局と3往復ぐらいやりとりをしてやっと出せました。

一定の条件が必要だと市役所の方がおっしゃることも分かります。でも素人からするとどこに相談していいかわからない。今現在も事業をやる上でラコルタさんにお世話になっており、伴走してくれるところがあることをしっかりと周知いただきたいです。

事務局：補助金交付にあたっては一定の団体資格は必要と考えていますが、申請を受ける前からラコルタや市民自治推進室で御相談を受け、事業実施の中身や申請書を形にしていく支援をさせていただいております。また、補助金交付以降は、スタート支援コースの団体についてはラコルタのコンサルティングを受けることを義務付ける等の支援を実施しています。

申請前のラコルタ等の支援の周知については募集要項の書きぶり等工夫をします。

草郷副会長：不交付団体に対するサポート等はしていますか

橋本委員：審査で交付対象外とした場合も、その理由や、こうなればいいですね、という内容を審議会から文書で説明しています。

草郷副会長：それを受けて、次年度以降申請をして交付を受けたりする団体もありますか。

事務局：交付対象にならなかった事業は、この補助制度になじまない事業であることがほとんどですのでほぼ再申請されておられません。

橋本委員：できるだけ支援していくという視点で審査していますが、活動場所が吹田でなかったり等、あまり対象外となるものはないです。

梅村委員：不交付はほとんどなかった記憶です。

太刀掛会長：そうですね。不交付になったのは、補助金の目的から離れた事業であったと記憶しています。

草郷副会長：交付決定が終わった時点で予算残額に余裕がある場合、年度内にもう1度募集をすることは可能ですか。

事務局：今年度は当初の募集期間の申請団体が少なかったので、再募集をしました。年度途中で募集した場合、市の予算に縛られるので事業年度は3月末までになり、事業期間がとても短くなってしまいます。

草郷副会長：同一事業の取扱いで、事業内容の強化、発展、改善がみられる場合は年度による遞減の対象外とする、という項目について、それが認められる明確な基準はありますか。

事務局：それぞれの活動の範囲が多岐にわたっており、明確な基準はありません。審議会でご審査いただくときに、ケースバイケースで御判断いただいております。

5 市民公益活動センター ラコルタについて

事務局：資料4を使って説明

太刀掛会長：この件について御質問はございますか。

草郷副会長：ラコルタの事業案内のうち、市民公益活動を推進する研修・啓発の項目に関して、

広く市民に啓発が行き渡っているかどうか、あるいはこれからのプランを教えてください。

事務局：コロナ禍により団体の活動休止や規模縮小の傾向はあります。一方で、活動の立ち上げ等、社会への貢献意識や、地域の中でのつながりを求めている方は逆に増えてきている印象がありますので、そういう方が市民公益活動につながっていくような道筋を立てられればと思っています。

草郷副会長：市民公益活動のネットワークづくり、の項目に関連してネットワークづくりについて課題と感じていることを教えてください。

事務局：一つの団体が手の届く範囲・解決できる範囲は限られており、地域や社会の様々な資源を有効的に活用しながら活動を展開していくのが望ましいと思いますが、団体は、目の前のことや書類の事務作業等に追われて、活動を広げていくところまで手が回らないのが実情だと感じています。自治会や大学や地域の事業者も市民公益活動の担い手の一つとして繋がっていく、そういったネットワークを広げていく必要があると感じています。

草郷副会長：ネットワークづくりと言ったときに具体的なアイデア等はお持ちですか。

事務局：「みんなの SUITA DAY」という、個人でも団体でもどなたでも企画に参画でき、準備活動過程でネットワークが少しずつ形成され、本番では、市民公益活動に興味のない人も巻き込んで、ネットワーク、活動に参画していただける人を増やしていく取組みを実施しています。

草郷副会長：ネットワークは常に動かしていかなないと停滞してしまうので、どうやって持続していくのかの取組があつてこそ、ネットワークが強化されると思うので、SNSを活用する等、是非力を入れていただきたいと感じました。

草郷副会長：ラコルタで取り組んでいる市民公益活動に関する調査研究を教えてください。

事務局：市民公益活動団体の届出をされている団体を対象とする実態調査に現在取り組んでいます。実態調査の結果を受けて、今後、ニーズに合わせて事業計画、具体的な展開を考えていきます。

来年度は、コロナ禍の影響とデジタル化を主軸として昨年度行った調査の第2弾の位置づけで、地域諸団体の実態を把握できるような調査をしたいと考えております。

草郷副会長：ICT活用はDXとの絡みで極めて重要だと思いましたが、市民自治推進室では、調査結果をどう活用されるのか何か考えをもっていますか。

事務局：市民自治におけるDXについて、先日シンポジウムを行ったところですが、具体的な方法はこれから検討していきます。

太刀掛会長：ラコルタの貸事務室スペースについて教えてください。

事務局：比較的安価な価格でオフィスを構えていただき、活動を発展させ将来的には自立をめざしていただくもので、現在8区画中7区画が利用されています。これまで利用していた団体の中には外に出て行かれた団体も、活動を縮小して撤退された団体もおられます。事務室の真横にありますので、利用中の団体が頻繁に窓口に相談に来られるなど、単にオフィスの機能だけではなく、職員との関わりの中で活動のサポートもさせていただいています。

会長：以上をもちまして、本日の審議会を閉会いたします。